

衆議院外務委員会ニュース

平成 20.5.23 第 169 回国会第 16 号

5 月 23 日、第 16 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・高村外務大臣、河井法務副大臣、小野寺外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

篠原 孝君(民主)

- ・我が国の国際緊急援助隊による国際貢献に対する高村外務大臣の評価を伺う。
- ・我が国においては軍事安全保障に比べて食料安全保障が軽視される現状にあると考えるが、食料、エネルギーを含め総合的な安全保障を目指すべきではないか。
- ・G8 開発大臣会合(2008.4.5~6)において、自国の食料確保策について、どのような議論がなされたのか。

松原 仁君(民主)

- ・北朝鮮が米国に提供した寧辺の核施設の運転記録に関する資料のみをもって、六者会合が求める「核計画の完全かつ正確な申告」とみなすべきではないが、政府の見解はどうか。
- ・米国が北朝鮮のテロ支援国家指定解除を行う可能性について、政府はどう認識しているか。
- ・長野市で行われた北京五輪聖火リレーの際の警備体制には不備があったのではないか。

野田 佳彦君(民主)

- ・宇宙基本法の意義を高村外務大臣はどのように評価しているか。
- ・宇宙開発利用の国際プロジェクトに我が国が関わっていくことの外交上の意義とは何か。

- ・実利用に適した我が国宇宙産業の発展を阻害してきた 1990 年の日米衛星調達合意を終了するよう、米国と協議する必要があるのではないか。

赤嶺 政賢君(共産)

- ・2002 年、横須賀で起きた米兵による豪女性への性的暴行に対し、我が国が見舞金を払う一方、米兵や米国が全く償いをしない現状をどう考えるか。
- ・日本政府の要請に背き、機体更新や訓練参加を理由に、嘉手納飛行場から繰り返し行なわれている米戦闘機や給油機の早朝離陸を外務省はどう認識しているか。
- ・アラスカでの日米共同訓練は定期的に行われており、政府が毅然とした対応をしない限り、早朝離陸は今後も繰り返されるのではないか。

照屋 寛徳君(社民)

- ・沖縄米軍ヘリ墜落事件(2004.8.13)の日米政府間協議内容に関する情報公開訴訟のように、国側が裁判所から検証物提示命令を受けたことは過去にあったか。
- ・当事者である国が、裁判所の検証物提示命令に従わない場合、民事訴訟法上、どのような罰が科されるのか。
- ・検証物提示命令に関連して、福岡高裁那覇支部から高村外務大臣に発せられた 9 つの意見に対して、大臣はどのような回答をしたのか。